



学校だより

北の子通信

秦野市立
北小学校
6月号

令和 8 年
6 月 15 日

自主的に学びたくなる授業づくり

今後、横浜国立大学附属鎌倉小学校教諭を講師に招き(予定)さらなる授業力向上を目指していききたいと思います。次回は学び続け、走り続ける北小の校内研究について紹介したいと思います。今後も北っ子のために学び続ける先生方にもご期待ください。

(↑1年前の北の子通信です。学び続け、走り続ける北小の校内研の紹介が大変遅くなり申し訳ありません。)

5月29日(金)に校内授業研の一環として、「かながわ学びづくり研修会」を開催し、市内外の先生方のべ100名が4・5年生全クラスによる授業公開を参観していただきました。基調提案授業として4年1組において算数科「小数」を公開しました。その後4・5年生全クラスによる

「たつじんカード」学習の公開へとつなげました。「たつじんカード」学習は、慶應義塾大学名誉教授であり、文科省中央教育審議会専門委員であられる今井むつみ氏がプレイフルラーニングの手段として開発されたカード学習です。全クラスが夢中になってカード学習に取り組む様子を見ていただきました。ご来賓として教育長、教育部長、教育指導課長、教育研究所長もご臨席いただき、かつ昨年度より何度もご指導いただいている横浜国立大学附属鎌倉小学校の荒谷舞研究主任にも共同研究者として見守っていただきました。

これまで課題とされていた子どもたちの意欲・真剣な取り組み(非認知能力)は、大変素晴らしいたくさん褒められました。次なる課題として、単位や量の概念の形成(認知能力)が学年相応として身につけているかを校内研究の一つとして取り組んでいきます。子どもたちには、難しい言葉は使わず「授業が分かる・授業が楽しい」が実感できる機会を増やして差し上げたいです。先生方の奮闘ぶりをまた紹介いたします。

5月11日(月)に配信しました義務教育学校制度に関するアンケートについて、たくさんのご意見をいただきました。本当にありがとうございました。かなり多くの保護者の皆さまに義務教育学校制度に関して期待をお寄せいただいていることが分かりました。しかし、不安な面のご意見等もいただいておりますので、全てのご意見について現時点での学校の総意を北地区学校運営協議会や秦野市教育委員会とも連携しながら回答していきます。さらに、新たな説明の場も設けていけたらと考えています。今後ともよろしく願います。